

日 本 史

(問 題)

2011年度

〈2011 H23050015 (日本史)〉

注 意 事 項

1. 問題冊子および記述解答用紙は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて解答用紙の所定欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。欄外の余白には何も記入しないこと。
4. 試験が開始されたら、ただちに解答用紙の所定欄に、受験番号および氏名を正確に丁寧に記入すること。記述解答用紙の所定欄（2か所）には受験番号と氏名を、マーク解答用紙の所定欄（1か所）には氏名のみを記入すること。
5. マーク欄は、はっきりマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	● 悪い	○ 悪い

6. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I 次の文章を読み、下記の問1～8に答えよ。問1・2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～8については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

618年、はげしい混乱期にあった中国では、隋の煬帝が江都（揚州）で殺害され、長安に入っていた李淵が唐を建国した。この情報は、少なくとも二つのルートで倭に伝えられた。ひとつは、隋の遠征によって度々攻撃を受けていた **A** からの情報である。いまひとつは、これまで遣隋使の一員として派遣されていた人々が帰国した時にもたらした情報である。帰国した彼らは、あらたな唐との交渉を促した。しかし、倭は、ただちに唐へ使者を送ることをせず、はじめての遣唐使を派遣したのは、唐建国から10年以上たった時であった。^a 倭では、**B** が即位し、中国では唐の勢力が拡大して、一応の安定期を迎えた時である。

その後、朝鮮半島では、新羅と唐の連携によって、百濟ついで **A** が滅ぼされ、新羅が半島を統一した。また、この間、百濟復興支援のために半島へ派兵した倭も、唐・新羅連合軍に大敗した。この敗戦と半島の大変動は、倭に大きな影響を及ぼし、近江への遷都、多くの山城の造営^b、氏族社会の再編成、はじめての大規模な戸籍作成^cなどを急ぎ促すことになった。

しかし、倭の動揺と混乱は容易に終息しなかった。皇位継承問題も加わって、内乱が勃発したのである。この内乱に勝利した天皇は、大和に還都して、官僚制の構築に取り組みはじめた。また、八種類の姓を定めて氏族集団の身分的序列化をはかり^d、律令や国史の編纂を計画し^e、あらたな都城の設計を推し進めた^f。その間、統一新羅との間では頻繁な交流がみられたが、唐との間では、いわゆる国交の断絶が約30年続くことになる。

問1 空欄 **A** に該当する国名を漢字で記せ。

問2 空欄 **B** に該当する天皇名を漢字で記せ。

問3 下線部 a に該当する人物は誰か。

ア 高向玄理 イ 小野妹子 ウ 犬上御田鍬 エ 阿倍比羅夫 オ 阿倍内麻呂

問4 下線部 b に該当しないものを二つ選べ。

ア 大野城 イ 高安城 ウ 水城 エ 基肄城 オ 多賀城

問5 下線部 c の説明で正しいものはどれか。

- ア 永久保存とされたので、現在、その多くが残っている。
- イ 近江より西の地域に住む人々のみが登録された。
- ウ 近江より東の地域に住む人々のみが登録された。
- エ 作成後、6年で廃棄された。
- オ 氏姓を正す根本台帳となった。

問6 下線部 d に関する説明で正しいものはどれか。

- ア 冠の色を八種類に区別した。
- イ 実際に使用されなかった姓もある。
- ウ 渡来系氏族は含まれていない。
- エ 稲置姓は、地域の郡司層に授与された。
- オ 真人姓は、天皇の子に授与された。

問7 下線部 e に関する説明で誤っているものはどれか。

- ア 令の編纂が律の編纂より先行していた。
- イ 律の編纂は、儀式の作法を定めるためにおこなわれた。
- ウ 『古事記』が完成したのは、平城遷都後であった。
- エ 中国式の列伝は、『日本書紀』に採用されなかった。
- オ 律令の完成は、『日本書紀』の完成よりも早かった。

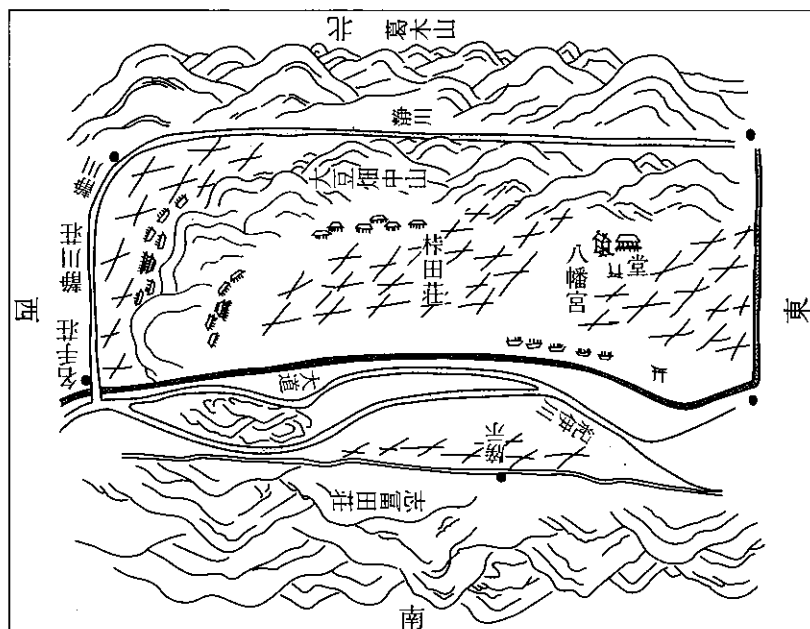
問8 下線部 f の計画は、次期天皇の時代に完成した。その説明として誤っているものはどれか。

- ア 条坊制を備えた「京」が設営された。
- イ あらたな「京」で宅地配分がおこなわれた。
- ウ 大極殿と朝堂院は、基壇をもつ礎石建ちの瓦葺き建物であった。
- エ 「宮」の区域は、「京」の北端に接していた。
- オ あらたな「宮」で即位した天皇は2名であった。

Ⅱ 次の文章および図について、下記の問1～7に答えよ。問1・2については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問3～7については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

10世紀末から11世紀にかけて、日本列島を含む広範な地域では、それまでの低温状況を脱し、比較的温暖な時期を迎えつつあったといわれている。この温暖化は、一方で早魃や疫病の拡大をもたらしつつも、山林原野の開墾を進めて広大な耕地の開発を実現した^a開発領主が各地で活躍したことに象徴されるように、「大開発の時代」とも呼ばれる側面をもっていた。彼らは、自らが開発した領域を貴族や大寺社に寄進して荘園化したり、国衙に進出して自ら **A** となり、国衙領の私領化を進めたりしたため、律令制的な土地制度は大きく変質し、荘園制的な土地所有が確立した。後三条天皇の発令した **B** の荘園整理令により、一定数の荘園は停止されたが、その後、白河・鳥羽・^b後白河上皇らによって行われた院政は、むしろこうした荘園群を経済基盤として成立したため、中世社会は荘園制社会として展開することとなった。

一方、この時期に多く成立した荘園の典型的な景観を描いた絵図としてよく知られるのが、下図の荘園絵図である。これは、神護寺が領有していた紀伊国の^c柿田荘という荘園の景観を描いたもので、当時の荘園の様相がわかりやすく表現されている。この絵図は、耕地ばかりの集合体であった^e初期荘園とは異なる、^dこの時期の荘園の様相を、きわめて特徴的に描き出している。



問1 空欄 **B** に該当する語を漢字二字で記せ。

問2 下線部 **b** の人物の持仏堂に寄進された大量の荘園群を何と呼ぶか。漢字で記せ。

問3 下線部 **a** の説明として正しいものはどれか。

- ア 荘園領主によって京都から派遣され、現地に土着して荘官とも呼ばれた。
- イ 大名田堵などから成長した在地領主で、その子孫の中には地頭に任命される者もいた。
- ウ 受領とも呼ばれ、租税の負担単位となる名を分け与えられた。
- エ 荘園公領制のもとで、摂関家から国衙領の支配を委任された。
- オ 荘園の寄進を受けた本家として、後には武士として活躍する者もいた。

問4 空欄 **A** に該当する語として正しいものはどれか。

- ア 在庁官人 イ 国司 ウ 目代 エ 領家 オ 名主

問5 下線部 **c** の説明として、誤っているものはどれか。

- ア この荘園のほとんどが10世紀までに衰退した。
- イ この荘園の内部には耕作者が住んでいなかった。
- ウ この荘園は預所とその周辺の墾田から成っていた。
- エ この荘園では付近の農民を動員して原野の開墾が進められた。
- オ この荘園の開発は主に東大寺などの大寺院によって進められた。

問6 下線部 **d** が指している荘園の説明として、誤っているものはどれか。

- ア この時期の荘園には既墾地の他、一定の開発予定地が含まれていた。
- イ この時期の荘園は、政府から官物などの不輸を認められたものも多かった。
- ウ この時期の荘園には耕地・集落や河川・山野が含まれ、ひとまとまりの領域をもつものが多かった。
- エ この時期の荘園の耕地は名に編成され、年貢は名主が請け負っていた。
- オ この時期の荘園の耕地を耕す耕作者は、ほとんど荘園外から動員されていた。

問7 前頁の荘園絵図に関する説明として、誤っているものはどれか。

- ア この絵図によると、柿田荘は静川^{しずかわ}荘や名手^{なて}荘、志富^{しふ}田^た荘と隣接している。
- イ 住民の住む民家は山麓や道に沿って展開している。
- ウ この絵図に記された交差する棒線は耕地を表し、その大部分は集落の前面に広がっている。
- エ 絵図の東北には八幡宮と堂が隣接して描かれ、当時の神仏習合の様子が表されている。
- オ この絵図に記された黒い丸印は、この荘園への出入口の門の所在地を示す勝示である。

Ⅲ 次の文章と史料を読み、下記の問1～10に答えよ。問1～3については、それぞれの解答を記述解答用紙に記入せよ。問4～10については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

江戸時代の中央政府は江戸幕府であったが、京都には前代に引き続き朝廷が存在した。ただし、幕府と朝廷の関係は、江戸時代を通じて一様ではなかった。

幕府は天皇・公家にさまざまな規制を加え、朝廷内の秩序化を図った。史料1は、1615年朝廷に対して幕府が制定した基本法令で、幕府の優位性を示すものである。幕府と朝廷の関係が常に敵対するものであったわけではないが、この法令は幕末まで改定されず、朝廷を幕府の統制下におく基本法令であり続けた。しかし、幕藩体制の矛盾の拡大は幕府権力の求心力低下をもたらすことになり、18世紀中後期、幕府と朝廷の関係は新たな段階に入っていくことになる。

史料2は、1788年に老中 **A** が将軍に提出した意見書の一部である。そこには、日本全国を支配する権限は、幕府が朝廷から預かったものであるとする認識が示されている。これは朝廷・天皇の権威をもって、動揺している幕府・将軍の支配を再強化しようとしたものにはかならず、あくまで幕府本位の考え方であった。しかし、同時期の国学者などにも類似の考え方を表明するものがあり、これがやがて幕末政治史の枠組みを規定することになっていく。

〈史料1〉

(第1条)

一 天子諸芸能の事、第一御学問なり、……

(第2条)

一 三公⁽ⁱ⁾の下、親王、……親王の次、前官の大臣、三公在官の内は親王の上たりといえども、辞表の後は次座たるべし、……

(第7条)

一 **B** の官位は、**C** 当官のほかたるべきこと、

(第16条)

一 **D** の寺の住持職、先規希有^{けう}の事なり、近年みだりに勅許^{ちくじょ}の事、かつうは臈次^{ろうじ}⁽ⁱⁱ⁾を乱し、かつうは官寺を汚す、はなはだしかるべからず、……

(i) 三公：太政大臣・左大臣・右大臣、または左大臣・右大臣・内大臣。

(ii) 臈次：出家受戒後の年数による僧の位次。

〈史料2〉

六十余州は、禁廷より御預り遊ばされ候御事に御座候へば、仮初にも御自身のものと思召すまじき御事に御座候、将軍と成らせられ天下を御治め遊ばされ候は、御職分に御座候、

問1 史料1の法令を何というか。漢字で記せ。

問2 空欄 **D** に入る語を漢字二字で記せ。

問3 史料2の文のなかで、宮中を意味する語はどれか。史料中から該当する語を書き出して記せ。

問4 下線部 a のために朝廷内で監視にあたり、幕府と朝廷の連絡を担った公家の役職はどれか。

ア 六波羅探題 イ 京都所司代 ウ 武家伝奏 エ 京都町奉行 オ 大坂城代

問5 下線部 b に関連して、五代将軍徳川綱吉から七代将軍徳川家継までの間に、幕府が朝廷に対しておこなったことをすべて選べ。

ア 将軍の上洛 イ 大嘗祭の再興 ウ 外国との条約締結への勅許の要請
エ 閑院宮家の新設 オ 対外政策に関する意見の聴取

問6 下線部 c に関連して、朝廷内で尊王論を説いたとして処罰された人物は誰か。

ア 山県大弼 イ 富永仲基 ウ 三浦梅園 エ 中井竹山 オ 竹内式部

問7 空欄 **A** の人物が朝廷と対立した事件に関する文 (い) ～ (は) の正誤の組み合わせとして、正しいものはどれか。

(い) 朝廷は、光格天皇の実父に太上天皇の尊号を贈ろうとした。

(ろ) 光格天皇の実父は、天皇在位経験があったにも関わらず、太上天皇の尊号を贈られなかった。

(は) 史料1の第2条の規定により、光格天皇の実父の座位は現任の三大臣より低かった。

ア (い)－正 (ろ)－正 (は)－正 イ (い)－正 (ろ)－正 (は)－誤

ウ (い)－正 (ろ)－誤 (は)－正 エ (い)－誤 (ろ)－正 (は)－正

オ (い)－誤 (ろ)－誤 (は)－誤

問8 下線部 d に該当する将軍は誰か。

ア 徳川家斉 イ 徳川家慶 ウ 徳川家定 エ 徳川家茂 オ 徳川慶喜

問9 下線部 e の延長にある1867年の大政奉還に関する説明として、誤っているものをすべて選べ。

ア 大政奉還にあたって、徳川氏はその後の政権に関わらないことを約束した。

イ 坂本竜馬・後藤象二郎は、松平慶永を通して将軍に大政奉還を進言した。

ウ 将軍が大政奉還を朝廷に申し出た同じ日に、武力討幕派は討幕の密勅を入手した。

エ 王政復古の大号令は、大政奉還の上表によって機先を制せられた武力討幕派によって画策された。

オ 大政奉還の前提となる公議政体論は、合議による政治を目指すものであった。

問10 空欄 **B** ・ **C** に入る語の組み合わせとして、正しいものはどれか。

ア B－公家 C－武家 イ B－公家 C－寺家 ウ B－武家 C－寺家

エ B－武家 C－公家 オ B－寺家 C－公家

Ⅳ 次の文章を読み、問1～7に答えよ。問1～5については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。問6・7は解答を記述解答用紙に記入せよ。

明治初年代から1945年の日本の敗戦までのあいだに、日本がおこなった「出兵」、「事変」、「事件」、「戦争」と称する対外戦争は、主なもので15回前後に及ぶ。

最初の対外戦争は、1874年の^a台湾出兵であり、翌年には^b江華島事件を引き起こしている。その後、1882年の壬午事変(壬午軍乱)、1884年の甲申事変に際しても出兵をおこなっている。甲申事変後の天津条約から9年余りは、日清間の紛争は起こっていないが、この間に軍備拡張が推し進められた。そして1894年、^c甲午農民戦争に際して日清両国は朝鮮に出兵し、^d両者の対立から日清戦争が起こった。

日清戦争後、列強の中国分割が進められるなかで1899年義和団が蜂起すると、翌年、日本、ロシアなど8カ国は軍隊を派遣した(北清事変)。その後、日英同盟を結んだ日本は、1904年、満州・韓国の支配をめぐる日露戦争に突入した。

日露戦争の終結から9年後、日本は第一次世界大戦に参戦した。また、大戦末期の1918年には列国と共同でシベリア出兵を開始し、出兵数は最大7万人余に及んだ。

第一次世界大戦後のワシントン体制の下で、軍縮と協調外交が政策の基調となったが、1926年から中国国民革命軍による^e **A** が開始されると、田中義一内閣は1927年から^f **A** に対する武力干渉をくわだて、居留民の保護を名目に3次にわたって山東出兵を実施した。

1931年9月18日、関東軍の謀略による柳条湖事件を機に満州事変が起こり、翌1932年には、やはり謀略により上海事変が引き起こされた。日中両軍の戦闘は1933年5月の塘沽停戦協定でいったん停止したが、その後も武力衝突事件はしばしば起こり、1937年7月7日の盧溝橋事件を機に日中全面戦争に拡大した。さらに、1941年12月8日の対米英開戦を機に、日中戦争を含めて「大東亜戦争」と称されたアジア・太平洋戦争に突入したのである。

問1 下線部 a および b に関する説明として、誤っているものはどれか。

- ア a は同年に起きた宮古島島民殺害事件を口実としておこなわれた。
- イ a は強硬派である西郷従道が指揮をとった。
- ウ a は琉球処分を道を開ききっかけとなった。
- エ b は日本の軍艦雲揚が江華島付近で挑発行為をおこない、砲撃を受けて交戦した事件である。
- オ b の翌年、不平等条約である日朝修好条規が締結された。

問2 下線部 c に関する説明として、誤っているものはどれか。

- ア 日清両国軍が出兵すると農民軍は朝鮮政府と和解し、朝鮮政府は両国軍に撤退を求めた。
- イ 日本は清・朝鮮の宗属関係の破棄などを要求した通牒を朝鮮に通告し、日本軍は朝鮮の王宮を占拠した。
- ウ 日本艦隊は、宣戦布告に先だって豊島沖で清国艦隊と交戦した。
- エ 日本軍は遼東半島および山東半島の威海衛を占領した。
- オ 1895年4月の下関講和条約において、清国は朝鮮に対する日本の指導・監督権を認めた。

問3 下線部 d の時期のできごとに関する説明として、正しいものはどれか。

- ア 首相の大隈重信は、大戦の勃発をアジアにおける植民地獲得のチャンスとみて、「天佑」と表現した。
- イ 第二次大隈内閣は、中国政府に二十一か条の要求を突きつけた後、参戦した。
- ウ 日本軍は山東半島を攻撃し青島を占領したが、ヨーロッパには派兵しなかった。
- エ 寺内正毅内閣は、段祺瑞政権に巨額の借款をあたえ、日本の権益を拡大しようとした。
- オ 列国による共同のシベリア出兵は、1922年まで続けられた。

問4 下線部 e の時期に起こったできごとをすべて選べ。

- ア 廟行鎮の戦闘で爆死した3人の工兵を爆弾三勇士（肉弾三勇士）として顕彰する美談がつくられ、三勇士ブームが起こった。
- イ 陸軍省新聞班が「国防の本義と其強化の提唱」と題するパンフレットを配布し、「国防国家」を公然と主張した。
- ウ 華北の5省を国民政府から分離するための工作が進められた。
- エ 戦争協力のための女性団体である大日本国防婦人会が結成された。
- オ 特別高等警察が全国の道府県に設置された。
- カ 満蒙開拓青少年義勇軍が発足した。

問5 下線部 f および g の時期（1937年7月7日～1945年8月15日）に発表された作品をすべて選べ。

- ア 小林多喜二「蟹工船」
- イ 石川達三「生きてゐる兵隊」
- ウ 藤田嗣治「アッツ島玉砕」
- エ 野間宏「真空地帯」
- オ 黒島伝治「渦巻ける鳥の群」
- カ 大岡昇平「レイテ戦記」

問6 空欄

A

 に該当する語を漢字で記せ。

問7 日清戦争を主導した日本の外務大臣は誰か。漢字で氏名を記せ。

V 次のA～Cの文章を読み、問1～4に答えよ。問1・2は解答を記述解答用紙に記入せよ。問3・4については、それぞれの解答を選び、マーク解答用紙の記号をマークせよ。

A 佐藤栄作内閣は1967年に、非核三原則を表明し、1969年の佐藤・ニクソン会談では「核抜き」の沖縄返還が合意されたが、有事の「核」の再持ち込みについての「密約」があったことが、近年明らかになってきている。

B 中曽根康弘首相は、当初「戦後政治の総決算」を唱えて政治的・軍事的大国化をめざし、その後、行財政改革を推し進めるため、・・の民営化を断行し、省庁の統廃合を進めた。

C 日米両国政府は、1997年「日米防衛協力のための指針」(いわゆる新ガイドライン)に合意し、1999年には、これを具体化するためになどの3法を成立させた。

問1 下線部aの非核三原則を記せ。三原則の順序は問わない。

問2 空欄の・・に該当する語を三つとも記入せよ。順序は問わない。なお、いずれも通称(略称)で答えてもよい。

問3 中曽根内閣期(一次～三次、1982年11月～1987年11月)のできごとをすべて選べ。

- ア この内閣の首相は、戦後の首相として初めて靖国神社公式参拝をおこなった。
- イ 日中平和友好条約が締結された。
- ウ 在日米軍が使用する普天間飛行場の移設と代替施設の建設が日米で合意された。
- エ 先進5カ国蔵相・中央銀行総裁会議(G5)で、ドル高是正のために介入することが合意された。
- オ 教育基本法が改定された。
- カ 官房長官が従軍慰安婦問題で旧日本軍の関与を認め、訪韓した首相が謝罪を表明した。

問4 空欄に該当する法律はどれか。

- ア 国際平和協力法(PKO協力法)
- イ テロ対策特別措置法
- ウ 周辺事態法
- エ イラク復興支援特別措置法
- オ 通信傍受法

[以下余白]